

第3章

Pepperの動作を確認しよう



この章では、パソコンにソフトウェアをインストールして、前章で作成した Pepperの動作を確認します。インストールの手順は次のとおりです。

ステップ1：ドライバのインストール

**ステップ2：ターミナル・ソフトまたはハイパーターミナルを使って、
手動で動作の確認**

ステップ3：Processingのインストールと動作の確認

利用するパソコンが Mac OS Xの場合と、Windows XP/Vistaの場合に分けて説明します。どちらの場合にも、インストールが終われば Processing (プログラム) からは同じように操作が可能です。

3-1 Windows XPのドライバのインストール

まず、Pepper用のドライバをインストールします。

PepperをUSBポートに挿し込んだ段階で自動的にウィザードが動作し、ドライバのインストールを促します。

① ドライバのダウンロード P1

著者のホームページ「Morecat Lab.」のダウンロード・コーナからPepper用のドライバ(pepper.inf)をダウンロードします。

http://web.mac.com/kuwatay/morecat_lab./Download.html

② 新しいハードウェアの検索ウィザードの起動 P2

ウィザードが立ち上がります。インストールのためにWindows Updateを使うかどうか聞かれるので、「いいえ、今回は接続しません」を選択して、手動でインストールを行うようにします。

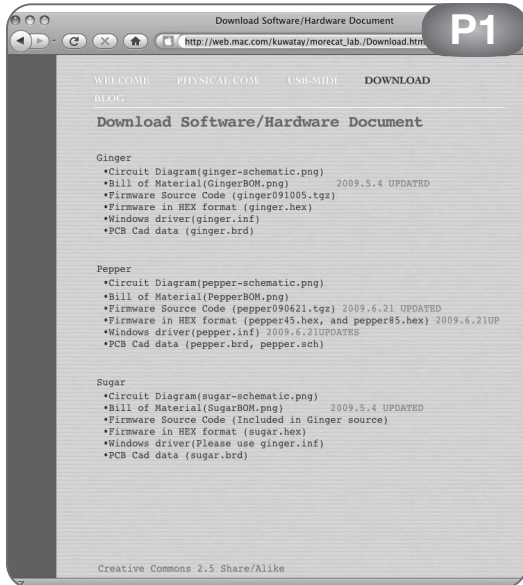
③ ドライバのインストール方法の選択 P3

次に、WindowsのCDからドライバを自動インストールするかどうか聞かれます。ここでは「一覧または特定の場所からインストールする」を選択します。

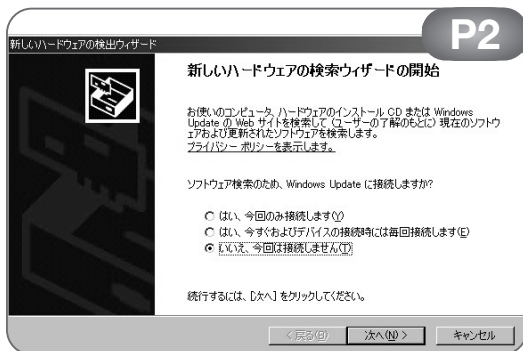
Pepperのドライバは、WindowsのCDから自動的にインストールできません。

④ ドライバのファイルの指定 P4

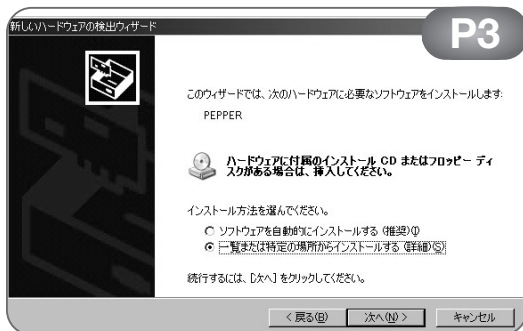
インストールのオプション画面でドライバの場所を聞かれます。先ほどダウンロードした“pepper.inf”を置いたフォルダの場所を指定してください。



ドライバのダウンロード・ページ



ウィザードの起動



ドライバのインストール方法の選択

1
2
3
4
5
6
7

5 インストールの開始 P5

インストール開始前に、警告メッセージが出ます。これはWindowsロゴ・テストをパスしていないサード・ベンダのドライバであるためです。この警告は無視してインストールしてください。「続行」を選択します。

6 ドライバのインストール P6

自動的にファイルのコピーが開始されます。インストールには数分かかります。プログレス・バーが進んで進行状況がわかります。

7 新しいハードウェアの検索ウィザードの完了 P7

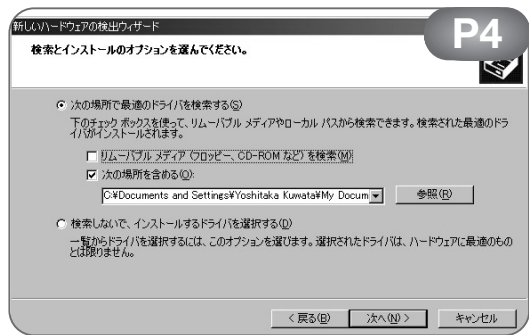
ウィザードによるインストールが完了すると、新しくシリアル・ポート (Communication Port) として認識されます。

ここまででドライバのインストールは完了です。次に、デバイスマネージャで確認します。

8 デバイスマネージャを用いて確認 P8

デバイスマネージャを開き、ポートの下にシリアル・ポートが増えていることを確認します。

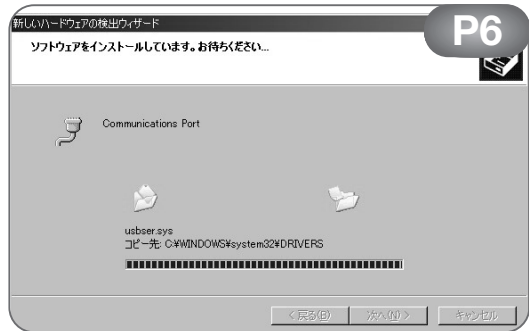
COMポートが増えているはずですが、このパソコンの場合には、3番目のシリアル・ポートであるCOM3と認識されました。



ドライバのファイルの指定



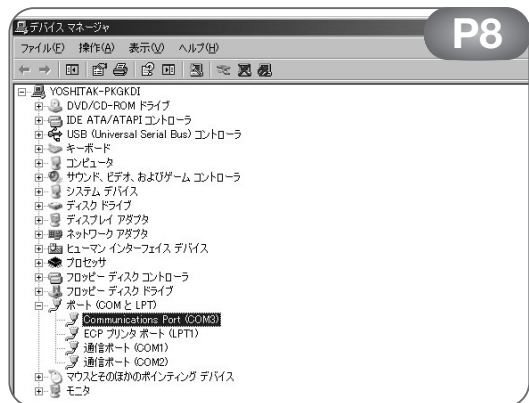
インストールの開始



ドライバのインストール中



ウィザードの完了



デバイスマネージャでの確認